

中国大陸にて思ふ

分社

代取会会報

『我々の目指すもの造り』

株式会社分社経営研究所
代表取締役社長 酒井 邦恭



酒井オーナー
七月二十六日（月）
分社経営研究所主催
幹部研修会にて
港区新橋／航空会館

先日、中国へ行って参りました。私は北京オリンピックまで、中国の好景気がもつのかという疑問を持って帰って参りました。中国では本当にびっくりすることが、実際に起こっています。今後、中国の情勢には大いに注目しなければいけないし、これからの見込みに対して、我々がどのように考えたらいいのかという気持ち致します。

我々の行く道というのは、日本独特のものでやらないとダメなので。どんなに素晴らしいものを造っても沢山やるのは価値が無いのです。「（価格を）もつと下げる！もつと下げる！」となるのです。何でもかんでも大量に造るとするのは以ての外です。底抜けに競争だけ競争して、どんな良い製品を造って、そして皆で損をする。

《発行責任者》
株式会社分社経営研究所
代表取締役社長：酒井 邦恭
代表取締役副社長：関山 博
《編集責任者》
分社グループ代取会
〒104-0061
東京都中央区銀座6丁目12番1号
TEL 03-3574-9542
会長：佐々木弘人
副会長：竹田 誠
発行担当者：吉田寿子

結局は一生懸命働いて何も儲けもない、何も意味がない、何をやっていくか本当に分からない。こんなバカなことをやる国は、日本しかない。考え方を変えないとダメなのです。数を造って値段を上げることだけは止めていただきたい。日本人特有な「倒れるまで一生懸命やる」のではなく、儲けることが仕事でしょ？会社っていうのは儲ける所でしょ？皆で儲けて分けるのが会社でしょ？

我々は、もつと難しいことをやりましょうよ。そしてお客様に待っててもらおう、お客様に並んでもらう。そついうことをしないと絶対にダメなのです。どんなに真似されてもいいから、もつと良いものを造る。良い物を作るのが日本人の使命なのです、生き甲斐なのです。だからそれでやっていきたい。それが本当の幸せな道に繋がるのです。私はそう信じております。

田村正勝教授による勉強会が開催されました

同じく七月二十六日（月）港区新橋の航空会館において、酒井オーナーよりご紹介いただいた早稲田大学教授の田村正勝先生による勉強会が開催されました。今回は「二〇〇四年の景気の見直し」回復ムードはいつまでかをテーマに、現在の経済指標をもとに、経済失敗の爪跡をどれくらい修復出来るのかについてお話がありました。

酒井・関山両オーナーを始め、分社グループの幹部社員五十名が参加しました。今後の分社グループの発展に貢献する有意義な勉強会となりました。



早稲田大学
田村正勝教授



酒井語録 その二

『会社に勤めるといふことは』

我慢する

忍耐する

言いたいことを言わない

他人の悪口を言わない

固有名詞を言わない

**** 次号予告 ****
次回の第5号は、酒井オーナー、関山オーナー及び代取会役員の皆様から二〇〇五年に向けての経営方針等についてお話を伺う予定であります。
（発行予定日は十二月中旬）
また皆様からの情報、御意見、ご感想等お待ちしておりますので編集担当までご連絡下さい。